事業所名 アフタースクールシーグラス高知教室 支援プログラム(参考様式) 作成日 2025 年 1 月 28 日 法人(事業所)理念 障がい者が生涯に渡って働いて生きていく為のサポートをします。 ・余暇活動、施設外活動を通して、生活の「糧」を見つけ、お仕事体験を通して就労の為の必要な技術、ルール、マナーを学ぶ。事業所内でのイベント等で工賃(シーグラス)を使って楽 しく過ごす事で、給料をもらい、お金を使って生活をする事へのイメージを持つ。 支援方針 ・他者との関わりの中で価値観や考えを共有し、信頼関係を構築する事で、安心して社会生活に臨む。 平日 送迎実施の有無 あり 10 時 0 分から 19 時 0 分まで 営業時間 休日 8 時 30 分から 17 時 30 分まで 支 援 内 容 ・来所時の検温、バイタルチェック。心身の健康面を家庭からの連絡、学校からの引継ぎにて情報共有を行い、ご本人からの意思表示が難しい場合でも、すぐに異変に気付ける様体制を 整えている。 健康・牛活 ・生活に必要な基本的技能の獲得に向けて、保護者からのアセスメントを参考に、食事、排泄、食器洗い清掃等のADL面での自立が出来る様サポートを行っている。 ・時計を指し示し、活動時間と活動場所(パーテーション、空間の提示)を構造化し伝える事で、ご本人が今取り組むべき事を理解、納得しやすい様支援を行っている。 ・朝礼、夕礼等を行う事で、社会の決まりにあった、交際上の動作、作法、挨拶の際の姿勢保持や体の使い方を学ぶ機会の提供をしている。 運動・感覚 ・お仕事体験、農耕作業、調理実習、運動遊びを通して、視覚、聴覚、嗅覚、固有覚、前提覚等の感覚を活用し、養っていける事を目的とした支援を行っている。 ・日常的に行う決まった活動(来所時準備)、優先的に行う必要のある活動(学習、お仕事体験等)、楽しめる活動ややりがいのある活動(余暇活動、ご本人が希望する活動)について、ス 人支援 ケジュールを確認しながら優先順位をつけて行っている。楽しめる活動を今後将来の「糧」と位置づけ、将来も社会参加した際にも、生活の中での優先順位を意識し行動出来る様支援 認知・行動 を行っている。 ・お仕事体験を行う際に、報告、連絡、相談を言葉で伝える事を基盤に、相手の顔を見る、目を見る等の対外的コミュニケーションも行っていける事を目的としている。 専門的支援を行っている。心理士がボードゲーム等の遊びや、小集団でのSSTを通じて対人関係等の社会生活に必要なスキルを身に付ける事を目的としている。生活で起こりうる様々な場面 やシチュエーションについてロールプレイを行い、実際の場面を想定しイメージを持つ事で、個々の今後の課題を明確化し、それに合わせたコミュニケーションや社会的なスキルの習得を目指 コミュニケーション している。 ・お仕事体験での仕事選び、活動の選択、余暇の過ごし、おやつ購入等、ご本人に意思決定を元に選択をする機会を作っている。意見を聞いてもらえた、受け入れてもらえたという成功 人間関係 体験を積む事で、人と環境への安心感と信頼感を育む事を目的としている。またお仕事体験では、様々な仕事に取り組んでもらう事で、苦手に感じている事に対する苦手意識の軽減や 社会性 出来る事を増やしていき、自己肯定感を育む事を目的としている。 ・保護者同士での交流の機会として、保護者会の実施。 お仕事体験を行い、工賃、給料を稼ぎ、季節のイベントでの使用や、飲 食物が購入出来る機会を作り、将来の社会生活に向けて、働いて生きて ・家庭での困りごとに対して、面談などの相談援助を行っている。又、困り ごとの解決に向けて、関係機関との情報共有を行っている。 家族支援 いく事を意識し、般化していける事を目的とする。 移行支援 障⇔障継承プログラムで、就労へのイメージを持ってもらう。 ・月に1回、事例検討等の施設内研修を実施。 ・農福連携事業により生産した農作物を、地域の方々に向け良心市を展開。 ・夏祭りを開催し、地域の方々を招聘し交流の機会を提供。 地域支援・地域連携 職員の質の向上 ・地域資源の活用、公共施設への外出。

・季節のイベント(春祭り、夏祭り、勤労感謝、ハロウィン、クリスマス、お正月等)。

主な行事等

保護者会(年に1回)。